



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

あったかウェルねっとニュース 第16号

2013年3月26日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

3.11、東日本大震災から2年が経ちます。記憶をあらたに、無念にもお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、一日も早く被災地が復興・復旧されまことを願い、被災された皆様の安全安心を中心よりお祈り申し上げます。

ごあいさつ

あったかウェルねっと 事務局長
横田八枝子(第1期生)

あったかウェルねっと新時代へ

あったかウェルねっとは13年目を迎えます。2000年第1期から始まった県社協主催の「埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修」は2010年第11期の修了者(約800名)で休止となりました。しかしながら、子どもから高齢者まで福祉課題は複雑化多様化し、社会問題にまでなっている現状です。そこで今年を新年度と捉え、地域の推進員らが知恵と専門性を出し合い、あらたに福祉教育・ボランティアに関心のある人たちとの出会いの場をつくり、様々な立場を超えてボランタリーに「共に生きる力」を育んでいきたいと考えます。皆様のご理解ご協力をお願いします。

お知らせ

平成25年度 総会 及び 学習会

開催日：平成25年5月11日(土)

会場：すこやかプラザ2F 研修室1・2
(JR京浜東北線与野駅 西口 徒歩10分)
対象者：1期から11期推進員、賛助会員
年会費：1,000円(振込の方は4ページに記載)

平成25年度 ねっと総会

受付：10時00分
総会：10時30分～11時30分
交流会&昼食：11時30分～12時45分
※ねっこで軽食を用意します。

学習会

事前の申し込みをお願いします。

時間：13時～15時30分
テーマ：「被災地で、身近な地域で、ともに生きる」～閉じこもらないで～
目的：この学習会は、様々な立場の人たちが出会い、地域とのつながりについて学びあい、「豊かな心」「共に生きる力」を育み、みんなで「ふくしの輪」を広げていけるよう開催します。

ゲスト①福島県浪江市出身、埼玉県上尾市シラコバト団地内被災者の会「ひまわり」代表 橋光顕氏

講演「被災者の会「ひまわり」のなりたちと地域のつながり」

ゲスト②埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員、川口被災者サロン「ひまわり会」支援者 島田由紀子さん

お話を「推進員として、できること」

ゲスト③推進員(さいたま市)

報告「さいがい・つながりカフェを訪問して」

申込先：ねっこ事務局 横田 049-281-3161(FAX)

メールアドレス：y-ya@xf7.so-net.ne.jp

報告

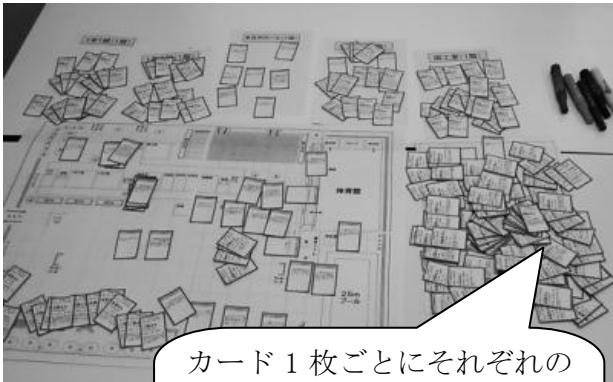
避難所HUGでワークショップ ～1月世話人会で体験～

1月世話人会の学習会で、HUG (Hinanjo Unei Game: 避難所運営ゲーム) を「ふくし共育」の視点で体験しました。

読み上げ係が小さなカードを順番に読み上げ、カード1枚につき1分という制限時間の中、チームで話し合い、対応を決めていきます。次々に来るカードは全部で 250 枚。迷いながらも真剣に取り組みました。



赤ちゃん連れ、高齢者、持病がある人、迷子、外国人の団体等々が次々に。



カード1枚ごとにそれぞれの事情があり、背景を考慮しながら配置。体育館は様々な家族で一杯に。

避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。(静岡県HPより引用)

《HUG感想》

- ・他の人と意見が違う時、同調する気持が大切。
- ・最初の立ち上げる人たちの結束が大切。
- ・實際にはもっと様々な事情を抱えた人が来る。瞬時の決断が必要。
- ・この緊張を長く続けるのは実に大変。
- ・振り分けも瞬時にしなければいけないので、それができる人というのが大事。
- ・総リーダーがしっかりとしている避難所は上手いく。判断・支持できる人が大事。
- ・皆で話し合って決めるのは大変。ある程度リーダーが必要。
- ・様々な環境、世代、人種がある。福祉教育の大切さを痛感した。

2012年度世話人会での学び合い

- 7月 聴覚障害者へのサポートについて
《お話とワークショップ》
9月 誰も排除しない地域づくりのために
11月 ダイアログ・イン・ザ・ダークの手法でのブラインドウォーク体験ブースについて
…その他、情報交換など…

あつたかウェルねっとの
これまで～これから

多くの方々に感謝！

～設立から12年間の活動です～

推進員に呼びかけ、スキルアップ！

2001. 「埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員の連携」
2002. 「共に生きる」
2003. 「福祉体験の手法 I & II」
2004. 「心病む人への理解」
2005. 「ユニバーサルデザインと福祉教育」
2006. 「学校とねっとの協働実践による成果と課題」
2007. 「地域福祉と福祉教育の視点を探る」

- 2008. 「自分らしく生きる」福祉教育を探り推進員の視点から高齢者を理解する
- 2009. 「自分らしく生きるⅡ」福祉教育とマイアップラン
- 2010. 「推進員の仲間から学び、今後の協働実践へ」
- 2011. 「あつたかウェルねっと十周年とこれから」
- 2012. 「地域の中で、ともに生きる」

☆県民対象にねっと事業の開催

「共に生きる」暮らしやすいまちをみんなで創造していく！

主催：あつたかウェルねっと

後援：埼玉県/県教育委員会/県社会福祉協議会/他

2002. ‘自分が地域が好きになる’福祉交流セミナー

2003. ‘地域をつなげるあつたかはあと’ 福祉交流セミナー

2007. ‘つなごう人の輪みんな主役’ 自分の幸せみんなのしあわせ

2008. ‘誰もが主役の街づくりへ’

2009. ‘だれもが楽しく歩けるために’

2010. 豊かに学ぶ力 ‘福祉教育から福祉共育へ’

2011. ノーライゼーションあつたかコンサート&あつたか体験

☆ねっと活動、全国へ発信！

2004. 11. 13. 14 「あつたかはあと彩の国から発信！」

第4回全国障害者スポーツ大会彩の国まごころ大会

☆学校との協働実践事業(学民協同プラン開発事業)

2005 主催：埼玉県教育委員会

～ 学校:深谷市立南中学校 (1年生 176名)

2006 民間：あつたかウェルねっと (埼玉県福祉

教育・ボランティア学習推進員)

内容：福祉・ボランティア学習プログラムの協働開発 名称：学民ジョイントプロジェクト
学年目標；あたたかくふれあう力(集団適応力)
テーマ：共に生きる社会の一員として、今自分たちにできること

草創期～そして、今

～新たなステップへ～

坂本晃一(第2期生)

県社協に勤務し、福祉教育担当としてウェルネット草創期から携わらせていただいて早10年…。

県内の様々な出会いとつながりから、福祉の輪が着実に広がったことを実感しています。

時代の流れは速いです。さて、これからどうしたらよいか？でも、大丈夫。あつたかウェルねっとの人材は時代に敏感です。そして、地域を常に見ています。

新たなあつたかウェルねっとの形…それは、まず、身近な所での対話の場づくりからでしょうか。私もしがない一教員として、微力ながら礎になればと。

12歳のウェルネット卒業おめでとう！！
そして、新たなステップへ飛躍を！！

埼玉県の福祉教育「共に生きる」実践者

松嶋さん、ありがとうございました

～貧困な福祉感から豊かな福祉感を願い～

・松嶋さんの訃報に驚きと悲しみでいっぱいです。自信に溢れて元気いっぱい大きな声が、まだ聞こえてくるようです。

・「あつたかウェルねっと」の大先輩の松嶋さんは、障害なんのそのと淫刺と真摯に生きていらっしゃいました。2000年、このネットワークがスタートして、松嶋さんと、あの市この町あの学校へと元気とビジョンをいただきながらご一緒したことを懐かしく思います。埼玉県の「福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク」の土台を確固の

ものとなさったお役目お見事でした。

・松嶋さんと親しくさせていただくようになって、もう十数年がたつでしょうか。孫ほども年の差がある私に対して、本当に優しく、いろいろ教えてくださいました。どこへでも駆けつけ、福祉教育について情熱をもって話をされる松嶋さんのパワーと人柄には、いつも頭が下がりました。松嶋さんは、私にとって親友であり恩師です。

・松嶋さんとの出会いで、「共に生きる」多くのことを学ばせていただきました。本当に有難うございました。

・気さくで元気なお姿が目に浮かびます。

・とても残念です。お元気な笑顔が思い出されます。心からご冥福をお祈りします。

新企画

平成25年度からスタートの予定

なまえ: 福祉教育・ボランティア

「まばびば しゃべりば カフェ」

いつ: 春・夏・秋・冬

どこで: 県内で！

参加費: お茶代など

対象: 福祉教育・ボランティアに関心のある人

運営: あつたかウェルねっと

協力: 県社協・市町村社協など

県社協からの情報

**共生・共助のつながりづくりを
推進していきます！**

今年度、県社協では福祉教育の取り組みとして主に下記の事業を行い、住民や福祉関係者等に対して福祉や地域活動への理解と協力を図りました。

- ボランティア体験プログラムの実施
- 北部4市(本庄市、深谷市、熊谷市、秩父市)の小学校への福祉図書の貸出
- 高齢者擬似体験備品等の貸出
- 「福祉の学びを考える集い」の開催
 - ・社協、学校、福祉施設、ボランティア等の福祉教育関係者による実践報告と情報交換
- 「地域福祉活動実践学習会」の開催
 - ・一般の方や地域福祉活動者を対象に、住民の支え合い活動の報告や情報交換を県内6か所にて実施
- 「災害について考える集い」の開催
 - ・被災地の現状報告や、県内の防災・減災に向けた地域づくり実践報告
- 「孤立死防止フォーラム」の開催
 - ・NHK チーフプロデューサーによる講演、各団体の孤立死防止に向けた実践報告

25年度は、左記の事業を実施するほか、新たに学校、施設、社協による寄付、懇話会等を通じた交流事業や、高校生ワークキャンプへの助成等を行います。

社会的孤立等の生活課題に向き合い、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、子どもから大人まで、各地域で共生・共助のつながりづくりに取り組んでまいります。

推進員の皆様にも、学校や地域における福祉教育の推進にご支援ご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

ねっと事務局より

**ねっと世話人会が変わります
～誰もが参加できる情報交換の場へ～**

世話人会は、平成25年度からは「まばびばしゃべりばカフェ」に模様替えします。

より親しみやすい情報交換の場として、また学びの場として、推進員のみでなく、幅広く誰もが参加し、楽しく学びながら情報交換出来る場にしていきましょう。

開催のお知らせは、チラシを作成して、みなさまにご案内します。ご参加ください。

会費振込先のお知らせ

活動は、ねっと会費(年1000円)で運営しています。みなさまのご協力をお願いします。

振込先：埼玉りそな銀行武藏浦和支店・

普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
(愛称：あつたかウェルねっと)

編集：あつたかウェルねっと世話人会（情報担当）

連絡先：埼玉県社会福祉協議会 地域活動支援課

(TEL：048-822-1435 FAX：048-822-1449)

担当：金子 (vc@fukushi-saitama.or.jp)